

2021年10月26日 「国民健康保険診療報酬に係る研修会」

○県病院協会（司会）

定刻になりましたので、ただいまより、国民健康保険診療報酬にかかる研修会を開催いたします。私は司会を担当いたします。保険医療対策委員会研究部会の委員の杉浦と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、研修会の開会にあたりまして、神奈川県病院協会 副会長で保険医療対策委員会の委員長 菅 泰博よりご挨拶申し上げます。

○菅副会長

ご紹介いただきました。副会長で保険医療対策委員会委員長を拝命しております、菅と申します。本日は本研修会にお越しいただき、誠にありがとうございます。また、山本会長 並びに国保連合会 審査委員の先生方には、本研修会の開催にあたり、多大なるご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

診療報酬請求業務は病院経営の根幹を成すところであり、次々と変わる診療報酬の仕組みに現場の皆様、日々ご苦労されているかと存じます。

研修会を受講され、より良い請求と審査への理解がますます深まること、心より祈念申し上げます。本日は最後までお付き合いくださいますよう、よろしくお願いいたします。

○県病院協会（司会）

それでは、次第の「1 国民健康保険における審査の現状」に移りたいと思います。山本先生、ご登壇をお願いいたします。

～ 山本会長 ご登壇 ～

○県病院協会（司会）

それでは、神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会会長の山本裕司先生より、お話いただきます。よろしくお願いいたします。

～ 山本会長 講演 ～

○県病院協会（司会）

山本会長、ありがとうございました。

続いて、次の「レセプトによる査定事例」に移ります。

審査員の先生方、連合会事務部の皆様、ご登壇をお願いいたします。

～ 審査員の先生方 ご登壇 ～

○県病院協会（司会）

それでは、連合会事務局よりご説明よろしくお願い致します。

○国保連合会事務局

それではご紹介させていただきいただきます。神奈川県国民健康保険連合会審査管理課でございます。よろしくお願いいたします。

先ほどの山本会長の資料ですが、お手元とスライドの資料が少し違っていましたが、申し訳ありませんけど、ご存知をいただければと思います

初めに、神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会審査委員の先生方をご紹介いたします。

診療報酬審査委員会会長の山本裕司先生、審査員で常務処理審査委員の先生方になります。

産婦人科 白須 和裕 先生

精神科 池上 秀明 先生

続きまして、内科になります。小林直之先生、同じく内科 永田博司先生。同じく内科で佐藤 忍先生、同じく内科で、宇藤 浩先生、同じく内科で古梶 清和先生。

心臓血管外科、三角 隆彦先生

外科 土居 正和先生です。

以上の先生方に本日ご回答いただきます。先生方よろしくお願いいたします。

また、事務局より審査指導係から野村と審査再審査係から島田が、事例によって回答させていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、各病院様より事例をご提出いただき、ありがとうございました。お時間の関係上ご提出いただきました事例の全てにご回答できませんけれども、本日の資料に沿って進めさせていただきたいと思います。

それでは「査定事例集 入院」の1になります。「コロナの陽性患者への検査、画像診断について」ということで宇藤先生の方からご回答の方、よろしくお願いいたします。

～ 宇藤先生から説明 ～

○国保連合会事務局

ありがとうございました。続きまして、入院事例2、「誤嚥性肺炎に対する呼吸器リハビリテーション料」について、山本先生から、よろしくお願いいたします。

～ 山本先生から 説明 ～

○国保連合会事務局

ありがとうございました。続きまして、入院事例3と4は、「経皮的動脈血酸素飽和度測定について」となりますので、まとめて回答させていただきたいと思います。

白洲先生よろしくお願ひいたします。

入院事例 3～7 まで、順番にご説明

○国保連合会事務局

引き続き、外来事例の方に進ませていただきます。外来事例の方の資料を読んでいただけますでしょうか。

本来ならば番号順に説明をさせていただくところですが、4番と11番の方を先に回答させていただき、その後一番に戻らせていただきたいと思います。

それでは、査定事例所により外来事例の4番「認知機能が低下している患者に対する頭部CT検査について」と、外来事例の11番「リバスチミンテープの処方について」を、池上先生よろしくお願ひいたします。

～ 池上先生から説明（11番は追加資料を配布し、併せて説明あり）～

○国保連合会事務局

ありがとうございました。続きまして、外来事例の1に戻らせていただきます。「梅毒血清反応定性、梅毒トレポネーマ抗体定性について」を事務局の方よりお願ひいたします。

はい、島田と申します。よろしくお願ひいたします。この症例につきましては保険者様より縦覧審査そして再審査申請が上がったものになります。

レセプトを確認したところ、確かに術前検査のコメントがあり、入院前検査またされたと考えられます。以上となります。

○国保連合会事務局

続きまして外来事例の2「超音波検査について」土居先生よろしくお願ひいたします。

外来事例 2～14 まで、順番にご説明

○国保連合会事務局

ありがとうございました。査定事例の質問は以上になります。

引き続き「レセプトによらない質問」の方に進めさせていただきますので、資料の方を手元にご用意ください。

よろしいでしょうか？それでは、質問1「脊椎固定術等に使用する人口骨について」を事務局の方からお願ひします。

はい。事務局の小原です。この件につきましては、国保では統一の見解は定まっておられません。一般的医学的な判断となりますが、1椎間 2ml までと考えることが多くなっております。以上です。

○国保連合会事務局

続きまして、質問2「再入札手術について」、小林先生からお願いいたします。

|
「レセプトによらない事例」2～6まで、順番にご説明
|

○国保連合会事務局

ありがとうございました。以上で国保連合会からの事例説明を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○県病院協会（司会）

ありがとうございました。会員の皆様からいただいた質問は他にもございましたが、本日の研修会でお答えできなかったのものもございます。

また、時間の都合上、質疑応答はございませんので、大変恐縮ですがご了承ください。

では、最後に閉会挨拶を保険医療対策委員会の持丸より申し上げます。

～ 持丸部会長 閉会挨拶 ～

○県病院協会（司会）

本日はお疲れ様でした。最後まで誠にありがとうございました。お帰りの際にお忘れものないようお願いいたします。